

四国食品健康フォーラム2016 in 高知

～ 食品の機能性を低コスト・短期間で
表示できる「四国健康支援食品制度」がスタートへ ～



フォーラム参加無料
(交流会の参加費2,000円)

定員:100名

日時 平成28年11月7日(月) 13:10～17:00 (12:00受付開始)
場所 高知城ホール 4F 多目的ホール (高知県高知市丸ノ内2丁目1-10 TEL:(088)-822-2035)

食品の機能性表示に関しては法律上の規定によりハードルが設けられているため、トクホなどを除き、地域の食品製造・販売企業は食品の機能性を表示できず、消費者にその正確な情報を提供することは難しい状況が続いておりました。

このような現状を踏まえ、当センターでは、いち早く平成23年度から、四国の食産業の振興の一環として、低コストで食品の機能性・安全性を表示できる地域独自の「四国健康支援食品制度」に関する検討を行い、平成25年2月、本制度の基本構想を策定いたしました。

一方、国においては、平成25年度から、食品の機能性に関する新たな表示制度の検討が進められ、平成27年4月、企業の自己責任で食品機能性を具体的に表示できる「機能性表示食品制度」がスタートし、届出数は現在約430品となっております。しかしながら、そうした届出の多くは都市圏の大企業によるもので、関与成分の明確化、科学的根拠の確保などで「トクホ並み」のレベルが求められていることもあり、四国からの届出は極めて少数にとどまっております。

こうした中、当センターでは、平成27年度に策定した「四国健康支援食品制度を活用した食産業振興スキーム」に関する取り組みを進めており、近く本スキームの中核的組織となる第三者機関が設立されるなど、制度運用開始に向けて準備が整いつつあります。

そこで、本フォーラムでは、消費者庁が主宰する検討会の委員である関口洋一氏((一社)健康食品産業協議会会長)に「機能性表示食品制度」の課題と今後の方向性、運用状況・課題等に関する基調講演をお願いするとともに、この制度を補完する「四国健康支援食品制度」について、これまでの取り組みなどを踏まえたうえで、地域の食品企業・農林水産業の振興に向け、その意義と役割に関する意見交換を行います。

プログラム等の詳細は内面をご覧ください。

主催 (一財)四国産業・技術振興センター
共催 四国経済連合会
後援 四国経済産業局、中国四国農政局、(国研)産業技術総合研究所四国センター、(独法)中小企業基盤整備機構四国本部、
(予定) (国研)農研機構西日本農業研究センター、(国研)科学技術振興機構、(公財)とくしま産業振興機構、
(公財)かがわ産業支援財団、(公財)えひめ産業振興財団、(公財)えひめ東予産業創造センター、
(公財)高知県産業振興センター、(一財)バイオインダストリー協会、(一社)北海道バイオ工業会、
(特非)中国四国農林水産・食品先進技術研究会、(株)四国銀行、(株)高知銀行

凡例 (一財):一般財団法人 (国研):国立研究開発法人
(独法):独立行政法人 (公財):公益財団法人
(一社):一般社団法人 (特非):特定非営利活動法人

【お問い合わせ先】

〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号
一般財団法人四国産業・技術振興センター(森)
TEL:(087)851-7082 FAX:(087)851-7027



本フォーラムは、競輪の補助金を受けて実施します。

<http://ringring-keirin.jp>

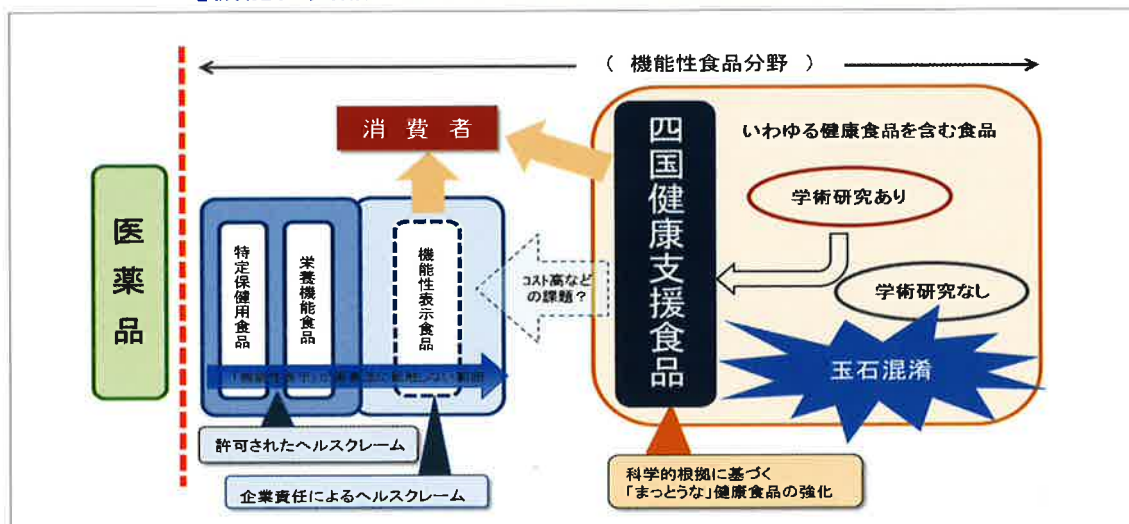


「四国食品健康フォーラム 2016 in 高知」プログラム

時 間	内 容 等
13:10～13:20	<p>開会挨拶</p> <p>一般財団法人四国産業・技術振興センター 理事長 洲之内 徹</p>
13:20～14:20	<p>基調講演</p> <p>「機能性表示食品制度の課題と今後の方向性 ～健康食品の機能性表示の本来あるべき姿について～」</p> <p>一般社団法人健康食品産業協議会 会長 関口 洋一氏 日本水産株式会社 取締役 常務執行役員</p>
14:20～14:50	<p>特別講演</p> <p>「四国健康支援食品制度の意義と活用戦略について」</p> <p>自然免疫制御技術研究組合 代表理事 杣 源一郎氏</p>
14:50～15:10	<p>活動報告</p> <p>「四国健康支援食品制度を活用した食産業振興スキーム(枠組み)について」</p> <p>一般財団法人四国産業・技術振興センター 食産業プロジェクトリーダー 森 久世司</p>
(休 憩 [10分間])	
15:20～16:50	<p>パネルディスカッション</p> <p>「四国健康支援食品制度の意義と役割について考える」</p> <p>コーディネータ 高知大学 副学長 地域連携推進センター長 教授(地域協働学部) 受田 浩之氏 内閣府 消費者委員会 食品表示部会 委員</p> <p>パネリスト (一社)健康食品産業協議会会長 日本水産(株)取締役常務執行役員 関口 洋一氏 自然免疫制御技術研究組合 代表理事 杣 源一郎氏 仙味エキス(株) 代表取締役社長 箆 島 克 裕 氏 高知県 商工労働部 新産業推進課 課長 森 学 氏</p>
16:50～17:00	<p>閉会挨拶</p> <p>四国経済連合会 常務理事 大西 玉喜</p>

(本フォーラム終了後、本ホール2Fにて交流会(17:00～18:30)を行います。)

【機能性食品における「四国健康支援食品」の位置づけ】



講師(基調講演・特別講演)、報告者(活動報告)、コーディネータ(パネルディスカッション)

【基調講演】

「機能性表示食品制度の課題と今後の方向性 ～健康食品の機能性表示の本来あるべき姿について～」

【講師】

一般社団法人健康食品産業協議会 会長
日本水産株式会社 取締役 常務執行役員 関口 洋一 氏



平成27年4月よりスタートした機能性表示食品制度の現状の課題と食品の機能を個々人が自らの健康の維持・増進に適切に利用するための機能性検証・表示の在り方を消費者庁検討会の議論内容も含め提言します。

【一般社団法人健康食品産業協議会】

健康食品の適正利用ならびに業界の健全発展をめざし、2009年に発足した業界団体の連合会。現在、以下の7団体が参画しており、活動をより活発化させることを目的として、本年4月をもって、任意団体から一般社団法人に移行。

<参加団体>

健康と食品懇話会、一般社団法人国際栄養食品協会、サプリメント・エグゼクティブ会議、特定非営利活動法人全日本健康自然食品協会、公益財団法人日本健康・栄養食品協会、一般社団法人日本栄養評議会、薬業健康食品研究会

【特別講演】

「四国健康支援食品制度の 意義と活用戦略について」

【講師】

自然免疫制御技術研究組合
代表理事 杉源 一郎 氏

食品には「相応しい機能性表示の方法があるはず」との思いから、「四国健康支援食品制度」の創設に取り組み、約10年の歳月が流れました。

これまでの我々の取り組みとともに、本制度の意義ならびに高齢化社会を迎えた中での活用戦略などについて、現在取り組んでいる内閣府のSIP(※)プロジェクトを交え、ご紹介します。

※戦略的イノベーション創造プログラム

Strategic Innovation Promotion Program



【活動報告】

「四国健康支援食品制度を活用した 食産業振興スキーム(枠組み)について」

【報告者】

一般財団法人四国産業・技術振興センター
食産業プロジェクトリーダー 森 久世 司

民間独自の取り組みとして、創設を目指している「四国健康支援食品制度」については、制度の運用開始に向け、現在、関係行政機関との調整など一連の諸準備を精力的に進めております。

今回は、そうした一連の取り組みと本制度を活用した食産業振興スキームについて報告させていただきます。



【パネルディスカッション】

「四国健康支援食品制度の意義と役割について考える」

【コーディネータ】

高知大学 副学長 地域連携推進センター長 教授(地域協働学部)
内閣府 消費者委員会 食品表示部会 委員 受田 浩之 氏

企業責任で具体的な効能・効果を表示できる「機能性表示食品制度」については、昨年4月のスタート以降における運用状況や顕在化した課題等から考えますと、他の保健機能食品(特定保健用食品、栄養機能食品)と同様、地方の企業にとっては、その“敷居”は結構高いことが明らかになっております。

こうした中、昨年のパネルディスカッションでは、四国の食産業の振興に向け、もう一段“敷居”を下げた地域独自の機能性表示制度の創設のため、

◇ 機能性表示食品制度と健康支援食品制度の関係・役割分担

◇ 関係行政機関に望むこと

などについて議論させていただきました。

その議論が起点となり、その後の関係者による取り組みなどが奏功し、近く「四国健康支援食品制度」の中核的組織となる第三者機関が設立されるなど、本制度の運用開始に向け、準備が整いつつあります。

そこで、今回のパネルディスカッションでは、国の「保健機能食品制度」の今後のあり方を認識しつつ、四国の食品産業あるいは一次産業の活性化に向けて、「四国健康支援食品制度」の意義と役割などについて議論させていただきます。



申込期限
10月28日(金)

「四国食品健康フォーラム 2016 in 高知」参加申込書 (平成28年11月7日(月)13:10~17:00)

参加ご希望の方は、以下の太線枠内に必要事項をすべてご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください。(申込用紙は、当センターのホームページからも入手できます)

企業・団体・個人名		
連絡先	TEL:	FAX:
	電子メールアドレス:	
	ホームページURL:	

お名前	所属・役職	交流会 (どちらかに○を付けてください。)
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加

【お申し込み先】

FAX: (087)851-7027 / 電子メール: mori@tri-step.or.jp

(お願い: お申し込みに対するご返答はいたしかねますので、当日会場にお越しください)

ご提出頂きました個人情報は、本事業の目的以外には利用いたしません。

【事務局からのお知らせ】

本フォーラム終了後、本ホール2階にて「交流会」(会費:2,000円※)を開催します。
情報交換の絶好の機会でもありますので、奮ってご参加ください。(※当日、受付でお支払いください)

<会場(高知城ホール)へのアクセス、会場案内>



(出典)高知城ホール

会場は「高知城ホール」4F
の「多目的ホール」です

【駐車場について】

- ◇ 駐車可能台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関でお越しください。
- ◇ 本ホールの駐車料金は以下のとおりです。
・1時間当たり200円、1日最大1,200円
(30台先着順)
- ◇ その他、向かいの公園の駐車場がご利用になれます。(台数65台/最初の1時間が360円、以降30分毎に100円加算されます)